

請 願 一 覧

平成 30 年 12 月 11 日提出

請 願 番号	受 理 年 月 日 件 名	要 旨	紹 介 議 員	付 託 委員会名
9	30.11. 8 消防局における 無呼吸症候群の 職員による運転 業務の中止また は自粛について	睡眠時無呼吸症候群の消防局職員による運転業務を中止または自粛するよう指導されたい。	太 田 正 孝	市民・文化 観光・消防
10	30.11. 8 交通局における 無呼吸症候群の 職員による運転 業務の中止また は自粛について	睡眠時無呼吸症候群の交通局職員による運転業務を中止または自粛するよう指導されたい。	太 田 正 孝	水道・交通
11	30.11.29 横浜市における 教育予算の充実 について	<p>1 スクールゾーン対策の充実など児童生徒が安心して通える通学路を確保されたい。</p> <p>2 老朽化した学校設備を修繕されたい。</p> <p>3 職員室業務アシスタントを全校に配置されたい。</p> <p>4 中学校の美術・音楽・技術家庭科の正規職員を増員されたい。</p> <p>5 少人数指導や外国籍児童生徒に対する個別指導支援への人員増強等をされたい。</p> <p>6 教育文化センターにかわる施設を設置されたい。</p>	酒 井 誠 麓 理 恵 福 島 直 子	こども青少 年・教育

12	30.12. 3 学童保育における安全・安心な居場所の充実について	子供たちが安全に安心して放課後を過ごすことができるように、国や県の財源を活用し学童保育を充実されたい。	上野盛郎 坂本勝司 望月康弘 北谷まり 太田正孝 井上さくら 斉藤達也 興石且子	こども青少年・教育
13	30.12. 3 市予算による少人数学級の拡大等について	1 小学校、中学校、高等学校の全学年で30人学級を実施するように、県・国に強く働きかけられたい。 2 横浜市独自の予算をつけて、少人数学級の拡大を図られたい。 3 横浜市の独自予算で教員をふやされたい。	河治民夫	こども青少年・教育
14	30.12. 3 横浜市立小学校給食の直営存続等について	1 安全で安心な給食をつくるために必要な数の栄養士や調理員を配置し、学校独自の献立やアレルギー対策の充実を図られたい。 2 学校給食は直営で実施し、市として責任を持った対応をするとともに、食教育として充実・発展させられたい。 3 市立学校の給食費について無償化されたい。 4 給食の食材については、地産地消を基本とし、輸入食品、残留放射能等の安全性を厳重にチェックされたい。また、食材の検査は児童が喫食する前に全て検査されたい。	白井正子	こども青少年・教育
15	30.12. 3 横浜市立中学校における給食の実施について	横浜市立中学校で学校給食法に基づいた給食を実施されたい。	荒木由美子 太田正孝 井上さくら	こども青少年・教育

16	30.12. 3 保育・子育て支援施策の拡充等について	<p>1 児童福祉法第24条第1項の市町村の保育実施責任を、認可・無認可を問わず全ての保育施設・事業の基本とされたい。また、どの子ども等しく豊かな保育が受けられるよう、無認可施設の認可移行や施設環境充実のための予算を増額されたい。</p> <p>2 待機児童と保留児童を解消されたい。</p> <p>3 兄弟児が同じ保育園に通えるようにされたい。</p> <p>4 保育所で働く職員が安心して働き続けられる賃金や労働環境を保障されたい。</p> <p>5 横浜市の保育士の配置基準を、民間基準に引き上げられたい。</p>	宇佐美さやか	こども青少年・教育
----	--------------------------------	--	--------	-----------